



みなさん、シーニック・バイウェイという言葉を知っていますか？ シーニック・バイウェイとは、アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)と言う意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる134のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。 =梅雨の季節になりました。安全運転で日豊海岸をご堪能下さい。=

## 今月のシーニック・バイウェイ

日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)  
年間優秀活動表彰 表彰式・マイスター認定証交付式・意見交換会



### 平成25年度 年間優秀活動表彰

九州風景街道推進会議の「年間優秀活動表彰」に日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)の「伊勢えび海道事業 伊勢えび祭り」の取り組みが選ばれ、平成26年5月13日(火)佐伯市役所で表彰式が行われました。

「うーに」のかけ声のもと笑顔で記念撮影しました。 撮影場所: 佐伯市役所会議室

## 地域資源（宝）の紹介コーナー

このコーナーでは、日豊海岸シーニック・バイウエイエリアの旬の地域資源(宝)等を紹介します



### 地域で活動する人



#### ◆マイスター認定及びMSB(マスター・オブ・シーニック・バイウエイ)認定

九州風景街道推進会議において、全国初「九州風景街道マイスター」6名を選定し、日豊海岸シーニック・バイウエイ研究会から橋本会長が認定され5月13日(火)に佐伯市役所で認定証の授与式が行われました。《九州風景街道マイスターとは、日本風景街道の活動の普及、活動の活性化などを目的に、多年の経験と卓越した活動技能を有し、活動技能伝承の指導者などを認定する制度で平成25年度に創設されました。全国初の試みとなります。》

マイスターと同時に、マスター・オブ・シーニック・バイウエイ(以降MSB)も制度化され、日豊海岸シーニック・バイウエイ研究会から7名が申請し認定されました。《MSBは、各ルートのパートナーシップとして地域の魅力を発掘、維持、発展させる取り組みに参加している活動者のうち、継続した活動実績及び活動継続意向をパートナーシップ代表者に確認を受け申請された方です。》



マイスター認定証 授与



MSB認定証



### 自然・景観資源



#### ◆波当津のホタル(佐伯市蒲江)

波当津海岸近くの上村川には5月下旬からホタルが観賞できます。近年はホタルの数が減少気味だそうですが小さな川にはたくさんなホタルが乱舞していました。上村川の水はわき水でホタルが生息することからきれいな水だと考えられます。当日はご近所の方々も多く様子を見に来て楽しんでいました。来年もきれいな光の乱舞が見られるとよいですね。



5月24日撮影のホタル

#### ◆延岡市浦城～須美江家族旅行村 間の市道(旧国道)

延岡市街地から国道388号で北浦町方向へ向かい、浦城の信号から市道(旧国道)へ右折すると海沿いの道が続きます。

須美江家族旅行村までの沿道には浦城海水浴場、浦城水軍城址、七ッ島展望台といった景勝地があり、いずれも雄大なリアス式海岸が眺望できます。

たまには、国道を通らずに市道(旧国道)へ寄り道されてみてはいかがでしょうか？



市道(旧国道)からの眺め



## 歴史・文化資源



### ◆葛原の宝篋印塔(佐伯市蒲江)

宝篋印塔とは、塔身に「宝篋印陀羅尼」という呪文を納めたことから生まれた名称である。

この塔は、基壇がなく、別の塔の基礎を使用している。相輪も見あたらず塔身の一面に墨書があるが、風化がひどく判読できない。塔の形等から鎌倉時代末期のものと思われる。(現地説明看板より)

葛原の宝篋印塔は、市指定の有形文化財に登録されています。



葛原の宝篋印塔



## 食



### ◆北浦井(延岡市北浦町)

北浦には、名物「北浦井」があります。地元の新鮮なカンパチや海草を使った味付刺身井です。北浦漁港は、カンパチの養殖が盛んで、良好な環境の中で、徹底した飼育管理を行っています。水産試験場で開発した「活けしめ脱血装置」を使って処理されたカンパチは「宮崎カンパチ」というブランド名で県外で販売されています。



北浦井

### ◆イワガキ(佐伯市蒲江)



イワガキは、6～8月にかけて旬を迎えます。別名「海のミルク」と言われるほど、濃厚でクリーミーな味です。イワガキは夏が旬で、冬が旬のマガキよりもサイズが大きく肉厚です。

炭火焼きにすると乳白色の艶やかなカキの身が磯の風味を豊かに漂わせ、カボスやレモン果汁などと合わせていただくと最高です。この時期、食堂などでは井やフライなども美味しく食べられます。

～本当においしいよ！！～



イワガキの炭火焼き



## お知らせ

# ◆第28回きたうら納涼花火大会 開催決定！！

北浦町の夏の風物詩、「第28回きたうら納涼花火大会」が8月16日(土)に開催されます！！

古江港の海上から打ち上げられる約2000発(例年実績)の幻想的な花火が夏の夜を彩ります！！

昨年は地元アマチュアバンド演奏、北浦神楽演舞、北浦中学生によるソーラン節演舞等のステージイベントが開催され、大盛況でした。

今年は東九州道の延伸により、宮崎市方面からの来場者も多く見込まれ、さらなる盛り上がり期待されます！

問合せ先:延岡市北浦町総合支所地域振興課 TEL 0982-45-4238



過去の大会模様  
(出典:延岡市HPより)

## 活動報告 ◆ハマンボウが表敬訪問

5月23日(金)にハマンボウが大分県南部振興局と佐伯市役所を表敬訪問しました。南部振興局長に会いに行くと、職員の皆様から歓迎の声援をいただきました。佐伯市長に会いに行くと、ハマンボウ来訪の看板があり緊張。部屋にはいるとたくさんの報道陣でさらに緊張。それでも皆様に笑顔で決意表明。～みなさんよろしくお願ひします。～



報道陣に囲まれ佐伯市長と記念写真

大分県マリカルチャーセンターFacebookより

※ハマンボウとは

5月3日マンボウフェスタでデビューしたマリカルチャーセンターのイメージキャラクターです。蒲江の海に「春の使者」として訪れる[マンボウ]と、旧蒲江町の花[ハマユウ]をモチーフにしたキャラクターです。

## 東九州道建設情報



## 宮崎県も大いに期待！

6月2日に宮崎県から東九州道(佐伯IC～蒲江IC)間の施工状況の視察にこられました。

蒲江トンネル南坑口で全体の説明を行った後、番匠川橋の現場に移動し施工業者から番匠川橋の施工状況について説明を受けました。

宮崎県の方々は大進捗をみて開通を楽しみにしていました。

東九州自動車道の工事進捗状況写真が下記URLでご覧いただけます。

佐伯～蒲江間URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/saiki/higashisnchoku/higasikyuuushuu.html>

北浦～須美江間URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/douro/higasikyushu/index.html>



工事説明板の前での説明状況



◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)のホームページ ◆  
URL: <http://nipou-kaigan.kirara.st/>

旬の情報を毎月発信中 皆様からの情報提供をお待ちしております。

## 問い合わせ先

### 日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-0831 大分県佐伯市大手町2丁目3番8号(佐伯市観光協会内)  
tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

(行政側問い合わせ先)

佐伯河川国道事務所 工務課  
tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所 調査第二課  
tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489